

## 私のイチオシ家勉強



はじめまして。今年から今福教室で個別と英検を担当している祖父江奏音と申します。小学四年生から中学三年生までカイチに通っていて、高津高校を卒業し、現在は奈良女子大学で心身健康について学んでいます。今日は家勉(家での勉強)についてお話しします。

突然ですが、皆さん家での勉強をおろそかにしていませんか。私も中学三年生の夏までおろそかにしていたのですが、中学三年生の秋ごろに家で

できる勉強が楽しくて、しかも効率の良い勉強方法を発見してから、高校入試の直前も塾にプリントだけ取りに行き家で勉強していました。高校生の時も予備校に通わずに独学で勉強をしていました。その勉強方法の一つを紹介します。ただ、この勉強方法はご家族のご協力が必要です。私は父に協力してもらっていたのですが、社会や理科などの穴埋め問題の( )の中の答えを私が言い、父が解説を見て、答えがあっているかどうか確認するという、とても簡単なものです。赤ペンで答えを書き、その上を赤シートをスライドして覚えるというのが一般的ですが、この書くという動作は疲れるし、時間がかかります。それに

比べて私の方法は、時間は短く、しかも声に出すことで記憶に残りやすいです。そして何よりも眠くならないし、親と一緒に勉強すると、一人で勉強するよりも時間が過ぎるのが早く感じ、とても楽しいです。また、親に監視されているので誘惑などにより勉強が妨げられることもありません。コロナの影響で家で勉強する機会が増えたと思います。せっかく家で勉強するなら楽しく勉強しましょう!ぜひ試してみてください。

家勉の他の方法や、勉強のこと、高校のことなど質問があればいつでも聞きに来てください。皆さんのサポートができるよう、精一杯頑張ります。これからよろしくお願ひいたします。



## 加戸のちょっとイイ話

TEACHER'S VOICE 加戸 健太郎 (高殿教室・今福教室)

## 神社めぐり

突然ですが、皆さんはどのくらいのペースで神社を訪れますか?「初詣」「合格祈願」「厄払い」の時のみ、という方も少なくないと思います。私はなんと、月に一度は新たな神社へ参拝しています。今回はそんな神社好きの私が、神社めぐりの魅力を少しでもお伝えできればと、二礼二拍手一礼をして、この記事の執筆に挑みます(礼)。

## 【神社の魅力その①:心が洗われる】

境内に一歩足を踏み入ると、そこはまるで異空間。仕事に追われる日常、情報で溢れかえる社会とは別の時間が流れています。つい先ほどまで悩んでいたことがちっぽけに思えてくるのは、まさに神社のパワー。神社によって祀られている神様は違いますが、手を合わせて向き合うのはいつも己の心なのです。



## 【神社の魅力その②:低コスト】

言うまでもありませんね。神社めぐりにかかるコスト(という表現が適切かどうか分かりませんが…)といえば、交通費とお賽銭、あとはおみくじや御朱印くらいのものでしょうか。一目ぼれした御守りをいただくことはあっても、ショッピングモールで半日過ごすよりはるかに低コストで充実

した時間を過ごすことができるのが神社なのです。

## 【神社の魅力その③:密じゃない】

大晦日やお正月、受験シーズンを除けば、人でごった返すことなどほとんどない神社が大半です。むしろ「無人」のパターンも多く見られ、ここぞとばかりにマスクを外して深呼吸。清々しい空気を胸いっぱい味わう。ソーシャルディスタンスを気にせず家族や大切な人と週末を過ごせる。贅沢ですよ。

## 【神社の魅力その④:自然豊か】

神社にはもともと立派な木々(御神木)や石が祀られていることが多いですが、人が荒らすことなく丁寧に管理されているため、木が木らしく、石が石らしく、生き生きとしているのが印象的です。足元に目を向けると、街では見られない植物や虫たちに出合うこともしばしば。私たち人間側が「お邪魔させていただいている」気になるから不思議です。マイナスイオンに包まれ、身体の細胞も喜んでいる気がします。

## 【神社の魅力その⑤:おみくじ】

1年に1度しかおみくじを引かないから「1年の運勢」などと大げさに考えてしまいがちなのです。毎月、毎週とおみくじを引けば、「この1週間はこういうことに気をつければいいのだな」という過ごし方の指標になります。「また無駄遣いばかりして!」と家族に言われるとムツとしちゃいますが、「儉約につとめよ」と書かれていると素直に従おうと思えるからこれまた不思議です。そう、おみくじは「吉=アタリ」「凶=ハズレ」ではないのです。今の自分に必要なメッセージを受け取るアンテナと素直さを持つことが大事です。

## 【神社の魅力その⑥:御朱印集め】

これは神社めぐりをさらに楽しく続けるための一種のイベントのようなもの。もちろん「記録」の意味もありますが、やはり何事にもモチベーションは大切です。小学生が鬼滅の刃カードを集めたり、大学生がポケモンGOで次々にポケモンを集めたりする、あの感覚と同じです(たぶん)。4人家族の我が家では、1人1冊の「マイ御朱印帳」を持っていて、神社を訪れるたびに4名分の御朱印をお願いします。神社によって字体やデザインも様々で、シンプルなものもあれば、「ばえる」ものも。これから神社めぐりデビューをする方には御朱印帳を持たれることをオススメします。



## 【神社で何をするか】

ここまで神社の魅力について語ってきましたが、では一体神社で何をするのか?その答えは「ただお参りするだけ」です。おみくじの項目にも書いたように、1年に1度しか訪れなければ1年分の健康や幸せを願ってしまうかもしれません。しかしお参りを「日常」にしてしまえば、「いつもありがとうございます。またよろしく願ひします」くらいの心持ちで手を合わせられるようになるのです。つまり、重くならない。(そして、これらは神社に限らずお寺でも良いと個人的に考えています。)まとめると、②お金をかけず、③密ではない場所で、④自然のパワーを感じつつ、⑤楽しむ要素も入れながら、⑥自分を見つめ直すきっかけをもらい、①マインドをリセットする。こんな素晴らしい体験ができるのは、神社だからこそ。皆さんもぜひ、神社めぐりしてみてください。まずはカイチの氏神様である、皇大神宮、八幡神社、比枝神社、関目神社へ!



【本 部】  
城東区今福西2-1-8モデラトWASHIMI 201  
TEL.06-6939-0008

【今福教室】  
城東区今福西 2-9-20  
TEL.06-6934-4662  
【諸口教室】  
鶴見区諸口 4-14-9-1F  
TEL.06-6912-3984  
【今津教室】  
鶴見区今津南 1-6-2-1F  
TEL.06-6167-9722  
城東区成育 5-22-10-2F  
TEL.06-6786-1008  
【エニグマ】  
中央区谷町 9-4-5-3F  
TEL.06-6777-1563

【今福第2教室】  
城東区今福西 2-16-8  
TEL.06-6931-2000  
【関目教室】  
城東区関目 4-6-17-2F・3F  
TEL.06-6934-8117  
【古市教室】  
城東区古市 3-21-8  
TEL.06-6931-0467  
【カイチ予備校】  
城東区今福西 1-10-17  
TEL.06-6935-2220  
【万緑会】  
天王寺区上本町 6-9-10-3F  
TEL.06-6772-5011



高木 秀章 (塾長)

## タネノチカラでSDGsについて学びました

10月3日(日)にSDGsの勉強のために生野産業会という異業種交流会から淡路島の「タネノチカラ」に行ってきました。タネノチカラって何という感じですが、私も行くまでは、SDGsのこともタネノチカラの活動のことも全く分かっていませんでした。

到着すると、そこは所々ぼつぼつと変な形の家が建つ野原。そこに、捨てたような黒板と椅子、そしてビニールの屋根。どうもそれがセミナーハウスです。そこに愛想のいい若者、金子さんと奥野さんが現れて、自己紹介が始まり、この野原のセミナーハウス?でセミナーが始まりました。金子さんは私達に、「まずこの野原を10分一人で散歩してください」と言いました。プラプラ歩いてみると、ナスやパズルが雑然と植えられていて、葉っぱは虫食いだらけ。とにかくこの野原には虫がいっぱいいる。一歩歩くと、大阪ではめったに見られない殿様バツガバツガと飛ぶ。鶏なんかもいて、でも決して行き届いている感じはしません。



10分後、金子さんの話が始まりました。彼の話は明確で、「全ての源は土である」ということです。食べ物はもちろん、服も家や家具を作る木材も、そして水も全てが土からできている。ですから土がなくなると人間は何も生み出すことができなくなる。なるほど言われてみればそうです。そして、この土が何からできているかというと、砂と死んだ生物の分解によってできる有機物です。地球は4億年かけて、今の土壌を作ってきました。しかし、この土がたったこの100年間で3分の1も減ってしまったのだそうです。

土の中の動植物の死骸が分解された有機物は、植物の成長に肥料として使われ、その植物を私達、そして、私達の食料となる動物達が食べます。これだけなら問題はありませんが、私達は植物から衣服を作り、様々なエネルギー源として、土の中の有機物の塊である石油を取り出します。そして、土から得たものを私達は大量に消費し、多くを余らせ、それを再び土に返すことなく、燃やして気体にしてしまいます。結果として私達は、長い時代をかけて作られた土を燃やしてしまっているのです。衣服などは製造された80%が売れ残り、その60%を廃棄し燃やしているそうです。

牛肉の消費に関しても、私達が食べる牛肉1kgの為に牛が消費する食料は14kg。私達が牛肉を食べるためにたくさんの土が減っていきます。環境の影響を考えると人間が1カ月に食べてよい牛肉の量は200g。ちなみに、平均的には1カ月に2kg~2.5kg私達は牛肉を食べているそうです。

また、牛のゲップに含まれるメタンガスは二酸化炭素の50倍以上の温室効果を持ち、実は自動車の排ガスによる温室効果よりも影響が大きいそうです。そのような意味合いでも牛肉の消費量は控えた方が良く、大豆ミートなど代替食品や昆虫食などが産業として注目されている背景もこのような環境への危機感からです。

では、この大切な土を増やすためにどうすればよいのか。方法は意外と簡単です。生ごみ1に対して、燃えるゴミ(草や紙もOK)25の割合で、混ぜて放置するだけ。それだけで、微生物が働き良質の土ができます。もしくはウッドチップをその辺の土に混ぜて放置しておくだけ。これらの土を普通の土に混ぜて、植物を育てるだけで肥料がなくても植物がぐんぐん育っていくそうです。

豊かな土にタネを植え、放置しておく。すると植物は自然に育ち、その葉を虫たちが食べる。そして、その虫が出す糞を養分にして植物は更に育つ。植物が食べられることを防ぐために、植物の間に大きな石を置き、カエルやムカデなど虫を捕食する生物のすみかを作る。虫を捕食するその生物たちも糞をして、植物は更に大きく育つ。生態系ができていけば、手を加える必要はなく互いに循環する。最初の散歩で虫が多く、虫食いの葉が多かったのは、このせいでこの状態こそが調和がとれた状態だったのです。

セミナーの最後に、政府のムーンショット計画についてのディスカッションをしました。内閣府が2050年までに掲げる計画で、ICTによって人間の知覚能力をトップレベルまで引き上げたり、人間がアバターという身代わりロボットを何体も操作し様々なことをやろうという計画です。

少子高齢化する日本が先進国として生き残るために政府が提示している未来像ですが、どこか不気味さを感じてしまいます。

現代の人間は、最先端の様々な技術を駆使して便利を追求し、その結果、何億年もかけて形成してきた地球環境をとてつもないスピードで破壊しています。難しいことですが、人類は「もっともっと」を捨てる時が来ているのかもしれない。



◀ムーンショット計画。内閣府のHPより

若い人たちが、今の会社や社会制度に疑問を持つようになってきているのも、生き物として人間という種を守る防衛本能なのかもしれません。

金子さんは最後に、「この話を誰か2人に話してください。そしてその2人のそれぞれが2人にこの話を伝えることを33回繰り返せば86億人に伝わります。つまり、世界中に伝えることができます。SDGsというのは単なる標語ではなく、みんなで地球の危機を真摯に考え、それに対して自分なりに何ができるのかを考えてのことからはじまります。どうかこの機会に考えてみてください。」

何かカイチとしてできる事、せめて子供達にこのようなことを伝えていくことはできないかを私も考えていきたいと思ひます。

■10月上旬から中旬にかけて中間テストが実施されます。みんなで頑張ろう! ■10月18日(月)は全コース休塾日です。ご注意ください。  
■10月23日(土)はコロナ休校分の補習日とさせていただきます。詳細は授業内でお知らせします。  
■10月24日(日)は珠算1級~3級の検定試験です。23日(土)は直前練習を行います。詳細は授業内でお知らせします。  
■10月24日(日)は中学3年生対象に進研模試会場受験が実施されます。必ず受験するようにしてください。  
■10月31日(日)は珠算段位検定試験です。10月30日(土)は直前練習を行います。時間は授業内でお知らせします。

カイチからのお知らせ

# Focus

## CLASSROOM REPORT 教室レポート



### 変化なくして成長なし

高木 直也 (諸口教室)

私達を取り巻く環境は日々ものすごいスピードで変化を続けています。AIの発達による自動化はもちろん、コロナ流行に伴う、生活スタイルの変化。そんな中で子供達を取り巻く学習環境も大きく変化しています。

今年春の公立高校入試もこれまでの常識、傾向を大きくひっくり返すもので、これまでと同じことを繰り返していても、この先の受験では戦えないと痛感した結果でした。通塾生徒数の増加に伴い、対面授業、対面補習には限界がきている点。あわせてコロナ禍でのソーシャルディスタンスの問題。それらの大きな変化や長年の課題にどう対応していくか。カイチもいろいろなことにチャレンジしています。

その取り組みの一つが「動画配信技術の活用」。昨年4月、学校の一斉休校の際、ZOOMを使った双方向授業を行いました。コロナ禍で塾に行けなくなっても授業を受けられる環境を整えました。しかし、制作に莫大な時間がかかる、決まった時間にしか授業が受けられないなどいくつかの課題も生まれました。いつでも、どこでも受けたい授業を受けられる環境を作るには「動画配信サイトを活用した授業の配信」がこれからはやはり避けられない。昨年冬から準備を始め、動画編集ソフトや撮影用のカメラの導入、動画編集を一から学び、試行錯誤しながら、12月に動画配信授業第一弾として、「入試直前歴史講座」の配信を開始し、2月には合格

判定模試の合格発表配信を行いました。

今年度は諸口教室において部活動で参加できない生徒のために中3夏期講習の授業の動画配信を試験的に行い、昼間部活動の生徒は夏期講習の授業が受けられないという長年の問題を解消しました。

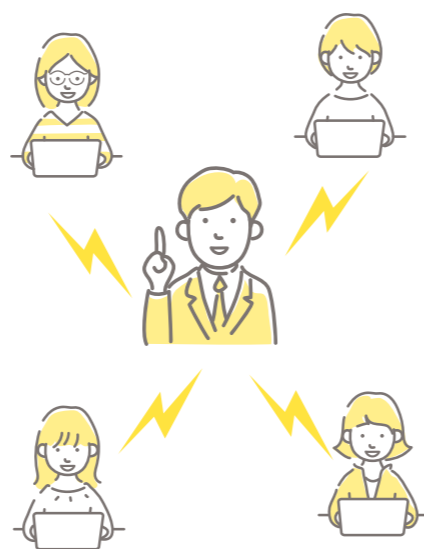
9月から始まった文理学科講座、受験対策講座は欠席者のための動画配信を開始し、秋の高校説明会、引退試合で欠席しても、後日自宅で授業の受講を可能としました。

もしコロナ禍がなければ、オンラインを用いた授業の提供はもっと先の話になっていたかもしれません。コロナ禍というピンチに見舞われたことが、距離の近い対面授業を強みとしてきたカイチの指導に幅を持たせるチャンスを与えることとなりました。変化を恐れず新しいことに挑戦し続けることもカイチの強みでもあります。

現状を変えるためには何かを変えなければいけません。生活習慣、勉強時間、授業の取り組み方、先生との接し方、何か一つでも変えてみると、自分を変えるきっかけになるかもしれません。

私自身、今回の高校入試結果を踏まえ、現在の高校生達の現状を知るために、今期からカイチ予備校の教壇に立っています。高校生の現状から今、中学生の生徒達に伝えておくべきことは何か、大学入試に臨む生徒達からも多くのことを学んでいます。

今後より多くのご家庭、生徒の皆さんの期待に応えられるよう、変化や失敗を恐れず挑戦していきたいと思えます。ピンチはチャンス。受験生の皆さんはこれから入試本番です。逆境に負けずに頑張ってください。



### コロナ休校が発生した教室では翌日に授業動画を編集、翌々日の13:30までにYouTubeにアップしています。



① 授業を撮影し



② 動画ソフトで編集し



③ YouTubeにアップする

# Education

## KAICHI'S ACTIVITY カイチの教育



### TALKING KIDS SPARKS! 活気あるトーキングキッズ!

Katrina Fujikawa (Talking Kids)

Summer is a great time for all kinds of learning opportunities. It is the perfect time for children to wonder how the air pressure works, discover chemical reactions, and explore the fun of science. Kids wonder, discover and explore. Kids get excited when we talk about science. It sparks their curiosity. Science experiments are filled with fun activities, and play a very crucial role in the ongoing intellectual development of children. Talking kids are given the freedom to engage in new exploration to exercise their curiosity. Doing science experiments help them develop their resourcefulness, and expand their imaginations. Children acquire new ways of asking questions and understanding the world better.

The kids were eager to start the science experiments. You could see the sparks in their eyes, they can't contain their excitement, and they were all jumping as they see their teacher coming! Here at Talking Kids we are happy to share with you all the fun and enjoyable moments as our little scientist explore the world of Science.

**Experiment 1: Balloon Race** - As the balloon fills with air, it adds more energy that causes the balloon to move forward.

**Experiment 2: Leak-Proof-Bag** - No water spills out of the holes because the Ziploc bags are made of a polymer.

夏はさまざまな経験をするのにとってもいい季節です。例えば、気圧の仕組みを考えたり、化学反応の観察をしたりといういろいろな実験をして科学の楽しさに触れてみるには、夏休みは最適な時間といえます。子供達は実験することで、疑問を抱き、新しい発見をし、そしてそれを探究しようします。科学の話をするとなんかワクワクします。科学は子供達の好奇心を掻き立てるのです。

科学の実験は、ワクワクする楽しさがあり、かつ子供達の知的能力の向上にも大変重要な役割を果たします。トーキングキッズでは、子供達の旺盛な好奇心を存分に発揮してもらい、常に新しいことに挑戦しています。科学の実験によ

って臨機応変な対応ができるようになり、想像力も膨らみます。いろいろな質問をすることで、たくさんの知識を身につけさらに世界が広がっていきます。実験当日、子供達は早く実験を始めたがってました。先生が来るのを見て、興奮を抑えきれず心躍る様子が見て取れます。トーキングキッズは、小さな科学者達が科学の世界を探究する楽しい時間をお届けします。**実験1.バルーンレース**…風船の内部が空気で満たされると、エネルギーが加わって風船が前に進みます。**実験2.漏れない袋**…ジップロックの袋に鉛筆をさして穴をあけてもポリマーでできているの



**Experiment 3: Magic Milk** - Milk is made up of minerals, proteins, and fats. When the dish soap enters the milk the fat begins to separate.



で穴から水がこぼれることはありません。**実験3.魔法のミルク**…牛乳の成分はミネラル、タンパク質、脂肪です。食器用洗剤を牛乳の中に入れて脂肪だけが分離します。**実験4.浮き上がる絵**…ドライイレースマーカー(ホワイトボードマーカー)でお皿に絵を描きます。そしてゆっくり水を入れると描いた絵が浮き上がってきます。ドライイレースマーカーに含まれる油性のシリコンポリマーのインクが水よりも軽いので浮くことができ、お皿からはがれます。**実験5.火山の噴火**…酢と重曹を化学反応させると二酸化炭素が発生します。

**Experiment 4: Stick Figure Float** - The oily silicone polymer in the dry-erase marker prevents it from sticking because the ink is lighter than water it can float.

**Experiment 5: Volcano Eruption** - A chemical reaction between vinegar and baking soda creates a gas called carbon dioxide.

**Experiment 3: Magic Milk Experiment** - Milk is a mixture of water and fat. Soap helps separate the water and fats.

**Experiment 4: Stick Figure Float** - The oily silicone polymer in the dry-erase marker prevents it from sticking because the ink is lighter than water it can float.

**Experiment 5: Volcano Eruption** - A chemical reaction between vinegar and baking soda creates a gas called carbon dioxide.



**Experiment 1: Balloon Race** - As the balloon fills with air, it adds more energy that causes the balloon to move forward.

**Experiment 2: Leak-Proof-Bag** - No water spills out of the holes because the Ziploc bags are made of a polymer.



夏はさまざまな経験をするのにとってもいい季節です。例えば、気圧の仕組みを考えたり、化学反応の観察をしたりといういろいろな実験をして科学の楽しさに触れてみるには、夏休みは最適な時間といえます。子供達は実験することで、疑問を抱き、新しい発見をし、そしてそれを探究しようします。科学の話をするとなんかワクワクします。科学は子供達の好奇心を掻き立てるのです。

科学の実験は、ワクワクする楽しさがあり、かつ子供達の知的能力の向上にも大変重要な役割を果たします。トーキングキッズでは、子供達の旺盛な好奇心を存分に発揮してもらい、常に新しいことに挑戦しています。科学の実験によ

って臨機応変な対応ができるようになり、想像力も膨らみます。いろいろな質問をすることで、たくさんの知識を身につけさらに世界が広がっていきます。実験当日、子供達は早く実験を始めたがってました。先生が来るのを見て、興奮を抑えきれず心躍る様子が見て取れます。トーキングキッズは、小さな科学者達が科学の世界を探究する楽しい時間をお届けします。**実験1.バルーンレース**…風船の内部が空気で満たされると、エネルギーが加わって風船が前に進みます。**実験2.漏れない袋**…ジップロックの袋に鉛筆をさして穴をあけてもポリマーでできているの